

## 技術開発事例

共同研究

# 形状記憶染色加工によるオリジナル製品の試作

【共同研究先】

ギャラリー工房純妙

## 研究の目的

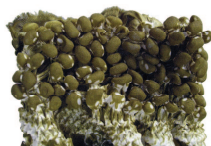
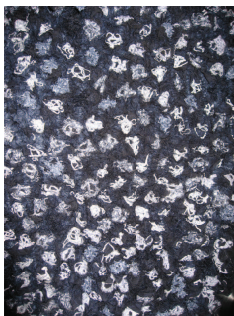
従来薬品の使用が不可欠とされてきた天然素材布への立体加工は、環境や布へのダメージ等マイナスイメージがあり敬遠してきましたが、洋服素材として、綿や絹、ウールといった天然素材の魅力は計り知れないものがあります。

そこで、オリジナル製品開発のための立体模様サンプル試作を目的に、工業技術センターが開発した獣毛布帛への形状記憶加工技術を応用して、染色も同時に行う形状記憶染色加工技術を検討しました。

## 研究の概要

獣毛素材繊維（糸、紐、布帛等）を糸で縛る、縫う、輪ゴムで止める、或いは板の間に挟む、クリップで留める等をして、シワ形状や絞り形状、プリーツ形状等立体的な模様になるようにしっかり固定した後、形状記憶染色加工を施します。

これまでは薬剤の使用や特別な設備が必要であった獣毛素材繊維への形状記憶加工に代わり、簡便な方法と設備で形状記憶加工が可能であることに加え、同時に染色も行える方法であるため、付加価値が高くオリジナリティーの高い自社製品の開発が可能となります。



試作品

基礎となった事業

平成19年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

担当部門

素材開発部門  
紬技術部門

部門長 篠塚雅子  
主任 本庄恵美

tel : 0296-33-4154